

えんぱわ

「すべての人々に、力を。」

EMPOWER

Vol.61

2021年5月



特集

2021年度
活動計画と現地の思い

支援地のいま
エファのこれから

新年度のはじめに。エファジャパン事務局長からのご挨拶。

新年度がはじまりました。コロナ禍に見舞われてから一年と半年が経ちましたが、一進一退、まだまだ先の見えないトンネルの中にいるこの状況に、身の周りからも「気持ちが落ち込んでしまう」との声をよく聞くようになりました。昨年内には感染も止まるだろうと期待していただけに、老若男女問わず、心身にのしかかる負担は想像以上に重くなってきているように感じます。

カンボジアやラオスでも市中感染が急拡大しはじめ、4月下旬からは再び厳格なロックダウンが開始されました。台湾と並んで新型コロナの収束に成功してきたベトナムであっても、周辺国の感染の広がりに伴い、第5波との闘いがはじまろうとしています。経済活動はもちろん、人々の暮らしには厳しい制限がかけられ、子どもたちが通う学び舎も幾度目かの休校に入ってしまった。

コロナ禍において閉ざされていく人流、そして交流。この試練に直面し、「人と会ってその息遣いと温もりを感じることの大切さ」を今ほど感じたことはないように思います。人とかかわることにどんな意味があったのか、海を隔てた国の人々や文化と触れることにどんな価値があったのか。人間にとって根源的なことを考える機会を与えられているようにさえ映ります。人との出会いと交流のもとで互いが学び、成長する機会を創り出してきたエファの取り組みも、このような時代の中だからこそ、改めてその意味や価値が問われているように思います。

私たちエファは、今年1月から「エファ改革 2020 ～子どもたちが生きる力を十分に発揮できる社会をつくる団体になるために～」をスタートさせました。役職員が一丸となって、10月までにビジョン、ミッションの実現に向けた「新生エファ5か年計画（2022-2026）」を描き出していきます。



そして、その一歩となる2021年度は、次の5つを柱に掲げてまいります。

- 1) これまでの取り組みの振り返り
- 2) カンボジア・ラオスでの新規事業の形成と立ち上げ
- 3) 国内での支援事業と参加のカタチづくり
- 4) オンラインなエファとその取り組みの「見える化」
- 5) ご支援者との関係強化と新しい支援の獲得

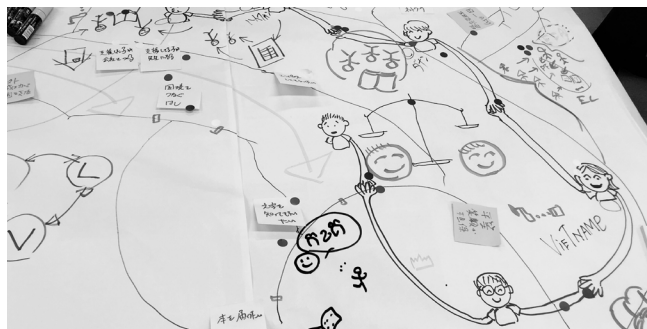
「誰一人取り残すことない -No one will be left behind」社会の実現のために、団体創立16年目となる2021年度も皆さまのご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

事務局長 関尚士

NEWS

エファジャパンでは創立16年目を迎える今年度、中長期計画の策定作業を、理事、関係団体関係者の皆さまと進めており、本年秋ごろに発表する予定です。

◆ 2021年3月に自治労本部で行われたワークショップの様子



学びは未来を拓くちから。 アジアの子どもにちからを。

2020年3月11日にWHOが新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界規模でのパンデミックを宣言してから、一年以上が経過しました。日本でも2020年4月7日に初めての「緊急事態宣言」が出されてから2021年4月までの間に、3回もの緊急事態宣言が発出され、様々な活動を制限される中での生活が続いています。海外でも同様に感染拡大が続いており、各種報道の最新情報では、1億5千万人以上の人々が感染し、300万人以上が亡くなっています。エファジャパンの支援地がある国々でも、感染者拡大を防ぐ或いは抑え込むための厳しい措置がとられており、教育機関や子どもたちの学びの機会への影響が続いています。

特集

支援国別 2021年度 エファジャパン

活動計画と現地の思い

ラオス

ラオス人民民主共和国の概要

ラオスは、ラオ族をはじめとする50の民族で成る多民族国家です。公用語はラオ語ですが、モン族、アカ族などは日常生活の中で民族の言葉を使っているため、小学校入学後初めてラオ語に触れる子どもたちもいます。

ラオスは「もっとも空爆された国」でもあります。ベトナム戦争中には北ベトナムの物資兵員輸送ルートである「ホーチミンルート」が通っていたことから「中立国」であったにもかかわらず米軍の猛爆撃を受け、約200万トンの爆弾が投下されました。いまでも10～30%が不発弾として残っているといわれています。

ラオス政府は持続可能な開発目標に独自の「第18目標：

18 LIVES SAFE
FROM UXO



ຊີວິດທີ່ປອດໄພຈາກ
ລະເບີດບໍ່ທັນແຕກ

不発弾からの安全な生活」を加え、国際社会への啓発と不発弾撤去を行っています。

ビエンチャン都立図書館支援

通常ラオスの図書館は平日の9時から16時までの開館ですが、より多くの都民に読書の機会を提供するため、



エファは、開館延長に伴う時間外手当の支給を行います。平日の16時から18時まで、土曜日の9時から12時まで開館することにより、学生や日中仕事をしている人たちの利用が可能となります。また都民が知りたい情報を図書館から得られるように図書館の図書購入を支援します。

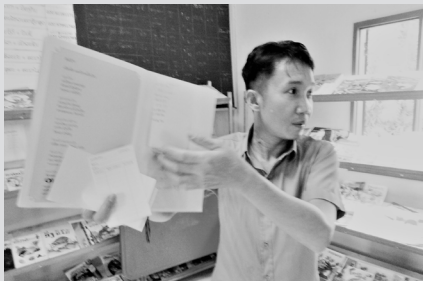
2006年12月に開館したビエンチャン都立図書館は、今年で15年目となり、15年間実施してきた事業を振り返るための内部評価を今年度行います。評価を通じて生み出された成果だけではなく、抱えている課題を洗い出し、今後の活動計画に反映させます。

ラオス

図書管理システム導入支援

ラオスでの図書館の利用者拡大を難しくしている要因の一つが、図書管理システムの未整備です。利用者は読みたい本や必要な情報が書かれた本を探すために、図書館員に尋ねるか、自分で目録を見て本を探す必要があります。図書館員は貸出の際、本のタイトルや利用者名をノートに記載して記録しているため時間がかかっています。

今年度、ラオス図書館協会及び国立図書館と協働で、図書管理システムである「PMB オンライン図書目録システム」をシェンクワン県、サヤブリー県に導入する支援を行います。PC へのインストールの後、図書館員向けの研修会を



実施します。またモニタリングを通じて、継続的な活用のためのフォローアップを行います。

学校図書館・図書室支援

ビエンチャン都にあるタートン村小学校図書館、ドンクワイ村小学校図書館、サンパンナ村小学校図書館、及びサワンナケート県ナーハン



ケー村小学校図書室に児童向けの絵本や小説、教員が授業で使える図書を配布します。

2020 年には、ビエンチャン都のケンモー村小学校、ナーサオナン村小学校、ナミエン村小学校、フェイトム村小学校の校舎の 1 室を図書室として整備しました。2021 年度も引き続き、図書と文房具の配布を行うとともに、2 カ月に一度国立図書館職員と一緒に 4 校を回り、追加の技術指導を兼ねたモニタリングを実施します。学校が抱える課題についてはその場で解決に向けたアドバイスをを行います。

ラオス

フェイトム村小学校 スリント校長の思い

これまで村にも学校にも図書室はなく、フェイトム村にとって初の図書室となります。図書室は知識・情報・交流の中心にある、知を蓄える銀行のようなものです。児童や教員、村人の生活や学習、特に読み書きの能力が伸ばせる場所になると期待しています。

改めて支援者の方々に御礼申し上げるとともに、皆さまのご多幸とご健康、ご成功を心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、また自由に場所の行き来ができるようになった際には、ラオスの人々、児童が直接日本の皆さまにお会いし、交流を深めら



れればと思っています。その日が訪れることを心待ちにしています。"Kob Chai (ありがとうございます)"

新規支援事業の立ち上げ着手

エファジャパンは、ラオスの財団組織である "Children Home Foundation" とともに、ビエンチャン都の子どもたちの教育・福祉の状況調査を実施する予定です。

2021 年度はそれら調査結果をもとに、新規事業の事業計画の策定に着手、今年度末までにトライアル事業を実施、事業評価を経て 2022 年度より、カンボジアでの新規事業展開を本格化する計画です。



現在に至るまで、インドシナ 3 国でエファジャパンが積み上げたきた支援活動をベースに、現在そしてコロナ後の社会

や時代の動きやニーズ、そして 10 年先の未来を見据え、すべての子どもたちがもって生まれた力を存分に発揮できる社会を実現するため、新たなかたちの学びと機会を届けることを含め、調査・検討をすすめてまいります。



カンボジア

カンボジア王国の概要

カンボジア国立銀行は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、2020年のGDP（国内総生産）成長率は、マイナス1.9%（2019年はプラス9%）になるとの見方を発表しました。これまで右肩上がり成長してきたカンボジア経済は一転、マイナス成長となる見通しです。またこれまでの経済成長は都市部に集中、地方との「貧富」の地域格差が広がりました。仕事を求め地方から都市に来たにも関わらず、定職につけなかった親が育児を放棄するケースが増え、ストリートチルドレンの数が急増しています。



2021年2月以降、カンボジアでは4,000人以上が新型コロナウイルス感染。医療体制が貧弱なため、封じ込め政策として首都のロックダウンが行われています。

児童保護施設・学童保育所支援（SCADP 連携事業）

現地パートナー NGO の SCADP が運営するプノンペン市、プレアビヒア州の児童保護施設で暮らす子どもたち（プノンペン市22人、プレアビヒア州45人）への学習用品、日用品、食料品、医薬品の寄贈支援を継続します。

またプノンペン市近郊のカンダール州バンティアイディック村にある就学前教室である学童保育所のスタッフの給与補填を行うことを通じ、子どもたちや地域の学びの場を存続するための支援を行います。



カンボジア

寺子屋教室運営支援（SCADP 連携事業）

タイとの国境地帯にあるプレアビヒア州はインフラ整備が遅れており、現在も小学校のない村がいくつもあります。そのため子どもを学校に通わせない家庭が多くあります。

エファジャパンでは現地パートナー NGO の SCADP を通じ、プレアビヒア州の小学校がない5つの村に、寺子屋教室をつくり、合計380人の子どもたちを受け入れ、読み書き、算数などを教えたり、それら寺子屋教室に通う子どもたちへの文房具の寄贈支援、また寺子屋教室で教える先生の給与の補填支援などを行ってきました。それら支援を今年度も継続、小学校に通えない村の子どもたちに学びの場



を届ける活動、そして地域や保護者に教育を継続することへの理解と協力を促す活動を行います。

奨学金支援（SCADP 連携事業）

プレアビヒア州イエン村の寺子屋から中学校に進学する生徒3人に奨学金を支給します。

奨学生は、①中学校のない辺境地域に暮らしている子ども、②家庭の経済的な事情などにより退学の危機にある子ども、③学業が優秀な子ども、に寺子屋の先生がヒアリングや家庭訪問を行い選出します。また保護者が病気であったり、孤児であるなどの理由で経済的に困難な状況でありながらも、幼稚園教諭を目指しプノンペンの幼稚園教員養成学校に入学した地方訓練生14人にも奨学金を支給します。



新規事業

今年度は、現地 NGO と協働で、新規事業の立ち上げも行います。ラオス同様、2022年度から本格的な事業展開を行うため、トライアル事業を今年度中に実施します。



カンボジア

パートナー NGO SCADP イム・ソカリー代表

カンボジアに生まれた子どもたちが、生まれた場所や、住んでいる場所、そしてどこで働いているかに関わらず、読み書きができる。カンボジアをそんな社会にしていきたい、という「夢」を思い描いたことから、すべてがはじまりました。

「教育」は誰にとっても大切ですが、特に、子ども時代に必要な教育を十分に受けることが、非常に重要だと考えています。私は「教育だけが未来を変えるちからをもっている」という信念を持っています。

私は 1992 年から、人生のすべてをカンボジアの子どもたちに捧げてきました。彼らが成長し、自分の道を自ら選択、明るく歩んでいる姿を見ることが、私の生き甲斐となり夢となりました。



SCADP：スカップ（Street Children Assistance and Development Program）子どもたちへの支援を行うカンボジアの市民団体



ベトナム

ベトナム社会主義共和国の概要

2011 年以降、高い経済成長率を達成。2015 年～2019 年までは 6%～7% の成長率を維持しました。2020 年は、新型コロナの影響で成長率



が鈍化。しかし、近隣諸国がマイナス成長の中、ASEAN 内では最も高い成長率となっています。

一方、ベトナムでは経済発展にともない、環境問題が深刻化しています。首都ハノイと第 2 の都市ホーチミンで、2021 年 1 月に PM2.5 濃度が高まったことをうけ、天然資源環境省が大気汚染監視システムの導入を地方当局に指示。フック首相（当時）が大気汚染規制の指令を発出しました。政府は市民に対し、窓閉めや屋外でのマスク着用を奨励、若者や高齢者には生理食塩水で鼻の中を洗うよう呼びかけるなど、市民の健康への影響が懸念されています。



ベトナム

アジア子どもの家奨学金基金

「アジア子どもの家」は元々、自治労が結成 40 周年を記念する国際協力事業として、1995 年に具体的な活動を始めたプロジェクトでした。1999 年には、自治労栃木県本部が 500 万円を拠出し、ハイフォン市に運用を委託。それにより得られた利子を、子どもたちの奨学金にあてる、奨学金事業を行っています。

本奨学基金は、ハイフォン市児童保護基金が管理し、経済的に困難な状況にあっても、熱心に学業に取組み、また優秀な成績を収めている子どもたちを選出し、奨学金を支給するかたちで「学び」をサポートしています。



2021 年度は、77 人のベトナムの子どもたちに奨学金を支給する予定です。

新規支援事業の立ち上げ着手

2014 ～ 2018 年の 5 年間、「ハイフォン市障がい児クラブ」事業を行いました。2019 年にはハイフォン市を訪問し支援事



業総括のための調査を実施。2020 年にはこの支援事業総括報告書に基づき、次フェーズ事業の協議を現地ソーシャルワークセンター等と開始する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大によりストップしています。今年度はオンライン会議ツールなどを活用し、事業総括で見た「ハイフォン市障がい児クラブ」の可能性と課題について意見交換や新規事業に関する検討を進めます。



身近なことでできる国際協力 「スマート生活」「古本募金」

エファジャパンの「スマート生活」は送料無料！お部屋も気分もスッキリで一石二鳥。書き損じはがきや年賀状、使わなくなった思い出の品、お家や職場の不要な物が「アジアの子どもの学びの機会」に変わります。是非、送ってください！

アジアの子どもの学びに変わる

エファの「スマート生活」
捨てずに活かす新たな生活習慣

引越・掃除・断捨離ついでに。家も気持ちもすっきり！

3,000円が...
【ラオス】本を買うことができない貧しい家庭の子どもの10〜15人分の本に。

5,000円が...
【ベトナム】児童保護施設で生活する子ども3人の1ヶ月分の生活費に

10,000円が...
【カンボジア】学校に通えず寺子屋教室で勉強する子ども10人の半年分の学用品に。

物品寄付の受付品目

- 金・貴金属
- 切手
- はがき・年賀状
- ブランド品・時計
- 図書券・テレカ・金券
- 勲章・金貨貨幣セット
- 骨董品
- 絵画・掛軸
- 宝石類
- 懐かしのおもちゃ・プリキ玩具
- ブランド食器
- カメラ・レンズ
- 高級洋酒
- 楽器

お取り扱いできないもの
換金性の低いもの、パソコン、プリンター、衣類、着物、家電、家具、書籍、一般食器、象牙、ぬいぐるみ、人形など

・はがき類は、未使用でも書き損じでもOK
・切手は、未使用でも使用済でもOK
・貴金属は、状態からかわずお送りください
・壊れていても1点からお気軽に送ってください
・付属の箱・袋、保証書・鑑定書があれば、一緒に送ってください
・楽器は、事前に「03-6265-7595」までお問合せください

◆上記に記載のないものはご送付前に「03-6265-7595」お宝エイド受付センターまでご相談ください

エファの「スマート生活」
お掃除や断捨離のついでに。
お部屋も気分もスッキリ。

寄付のしかた

ステップ1
「品物」を梱包
書き損じはがきや切手
使わなくなった思い出の品や
お家や職場で不要になった物
を段ボールに詰める。

ステップ2
ゆうパック（日本郵便）に
着払いでの集荷を依頼
1. ゆうパック（下記）に集荷依頼
の電話をして「着払伝票」を依頼。
2. 伝票を下図のように記入。

ステップ3
アジアの子どもの学びの支援に
受付センターに到着・査定後、
通常査定額に18%を上乗せされた金額
がエファジャパンの支援に。
※金等、一部商品を除く

郵便局へのお申込みもOK!!

◆日本郵便が玄関先まで取りに伺います！◆
日本郵政（ゆうパック）集荷依頼（無料通話）
0800-0800-111
上記までお電話いただき集荷依頼をお願いいたします。
年中無休 AM 8:00 ~ PM 9:00

着払い伝票の記入方法
「お届け先」の欄に必ず
エファジャパン宛と記載

※「お宝エイド」はエファジャパンへ寄付される物品の受取代行をしています。
※ 寄付されたものは、「お宝エイド」受領後、返却はされませんのでご注意ください。
※ 貴重品は書留やセキュリティーサービスゆうパックでお送りください。
※ 査定額（寄付額）はエファジャパンにお問い合わせください。

支援先・寄付の仕方は
エファジャパン
住所 東京都千代田区九段南 3-2-2 九段宝生ビル 3 階
TEL: 03-3263-0337 HP: https://www.efa-japan.org/

こんなもの送っていい？送り方は
（東京都公安委員会 第 303291208892 号）
お宝エイド受付センター・東京
〒156-0041 東京都世田谷区大森 2-23-17-1F
お買取屋さん東京本店 TEL: 03-6265-7595

お宝エイドとは M コミュニケーションサービス株式会社の登録商標であり、実用新案権取得済み事業です。

お宝エイドは、寄付者の「エファジャパン」への寄付を前提として物品を受け取り、物品査定後、寄付者より買い取り、買い取り代金を寄付者から預かります。その後、寄付者から買った買い取り代金（寄付者の寄付金）とお宝エイドの寄付金を含めて、「エファジャパン」に送金すること、そして、下記事項を承諾した上で物品を送付いたします。

1 私は、私が所有するものを、お宝エイドに売り渡し、その売却代金を「エファジャパン」に寄付することを承諾します。なお、私は、「エファジャパン」に本件物品を売却することと目的は、エファジャパンが本件物品の売却代金相当額を受領することをもって、寄付行為と認めるものであることを確認します。

2 私は、理由を問わず、本件物品の返還、買取相場の支払いをお宝エイドおよび「エファジャパン」に請求しません。

3 私は、査定後の物品については処分をお宝エイドに一任します。

4 私は、「エファジャパン」とお宝エイドが、本書に記載された私の氏名等の個人情報を、本プログラムの目的のために使用することを承諾します。

署名日 年 月 日

「古本募金」も5点以上で送料無料！

身近なことのできる国際協力

古本募金
- 古本で寄付ができます -

必要なくなった本やCD、DVDなどを「古本募金しやぽん」(運営：株式会社エファジャパン)に引き取ってもらうと、その買取査定金額がエファジャパンに寄付されます。いただいた寄付金は、ベトナム、ラオス、カンボジアでエファが行っている子どもたちの教育の支援に使われています。

お申し込み先
0120-29-7000
(9時〜18時・365日)
www.kishapon.com/efajapan/
(24時間・365日)

※ご寄付したい方は、寄付控が受けられます。

アジアの子どものために教育の機会を提供している国際 NGO
認定 NPO 法人 エファジャパン

〒152-0074 東京都千代田区九段南 3-2-2 九段宝生ビル 3 階
TEL: 03-3263-0337 FAX: 03-3263-0338
E-mail: info@efa-japan.org
URL: http://www.efa-japan.org

◆「スマート生活」に関するお問合せ

取扱物品・発送方法 **03 - 6265 - 7595**
(お宝エイド受付センター)
※「エファに寄付したい」とお伝えください

ちらし・その他 **03 - 3263 - 0337**
(エファジャパン事務局)

◆「古本募金」に関するお問合せ

申込・本 **0120 - 29 - 7000**
(きしやぽん)
※「エファに寄付したい」とお伝えください

ちらし・その他 **03 - 3263 - 0337**
(エファジャパン事務局)

発送方法や物品・本（一部取扱できないものがございます）につきましては、発送前にお気軽にお問合せ下さい。

お知らせ

2021 年度エファジャパン会員総会のお知らせ

本年も表題会員総会を開催いたします。総会内容は、2020 年度活動報告と決算のご審議、2021 年度活動計画と予算の報告です。正会員方々には後日別途、ご参加方法の案内（インターネット会議システム Zoom 参加のパスコード含む）並びにご審議頂く資料、書面表決書・委任状をお送りいたします。

今回の通常総会は感染症拡大防止の必要性等を踏まえ、総会の会場用意はございますが、ご出席方を最小限にできればと存じます。当日の出席をご希望される方は、「Zoom」でのご参加、並びに表決は「書面表決」または「委任状」での事前表決を基本とさせていただきます。ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

開催日時：2021 年 6 月 19 日（土）13：00～14：30
会場：ワーキングスペース茅場町 Co-Edo（コエド）
東京都中央区新川 1-3-4 PA ビル 3F

是非ご参加下さい

オンラインライブイベント（無料）

「ラオス NOW エファ NOW」

正会員（個人・団体）、シニア会員、エファサポーター（個人・団体）の皆さまの参加をお待ちしています！

コロナ禍のラオスの「今」を知って欲しい！そんな思いから、第 1 部はビエンチャンとオンラインでつなぎ、現在のラオスの人々の生活や子どもたちの様子、最新の図書館・教育政策を、「ラオス国立図書館」と「エファジャパン現地事務所」スタッフがライブレポート！第二部はエファジャパンの中期計画や今後の活動について、カジュアルに情報・意見交換するラウンドテーブルセッションです。お気軽にご参加ください。

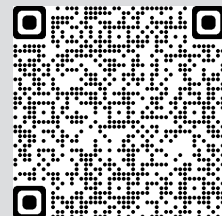
オンラインライブイベント（無料）

「ラオス NOW エファ NOW」

日時：2021 年 6 月 19 日（土）14：30～16：00
会場：オンライン
（上記「総会会場」からも、ご参加いただけます）

お申込

エファジャパン HP
（<http://www.efa-japan.org/>）
または
右記 QR コードから
お申込みください。



今号の表紙

カンボジアの首都プノンペン市にある SCADP（子どもたちへの支援を行うカンボジアの市民団体）が運営する児童保護施設の様子です。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校が休校になりました。施設内ではスタッフが子どもたちの日々の学習を支えています。

えんばわ エファジャパン広報誌 Vol.61
発行人・伊藤道雄 編集・エファジャパン事務局



特定非営利活動法人エファジャパン

〒102-0074

東京都千代田区九段南 3-2-2 九段宝生ビル 3F

TEL:03-3263-0337 FAX:03-3263-0338

E-Mail:info@efa-japan.org

URL:<http://www.efa-japan.org>

エファジャパンは東南アジアで、子どものための教育支援を行う国際協力団体です。エファ（Efa）とは、Empowerment For All（すべての人に、力を。）の略。支援を受ける人々が、自ら立ち上がる力を得ることを大切に考えています。

認定 NPO 法人であるエファジャパンへの会費（正会員を除く）、寄付、古本募金などの支援は税制優遇の対象となります。詳しくはエファジャパンHPをご覧ください。エファジャパン事務局までお問い合わせください。